
第 1 0 回杉並区都市計画審議会
まちづくり専門部会議事録

平成 2 0 年(2008 年) 8 月 2 2 日(金)

議事録

会 議 名	第10回杉並区都市計画審議会まちづくり専門部会	
日 時	平成20(2008)年8月22日(金)午前10時から12時	
出席者	委 員	村上委員、井上委員、大原委員、樋口委員、松本委員
	行政職員	まちづくり担当部長、まちづくり推進課長、拠点整備担当課長 都市計画課長、調整担当課長
傍聴	申 請	3人
	結 果	3人
配布資料	<p>第10回まちづくり専門部会次第</p> <p>まちづくり協議会認定申請書(富士見丘まちづくり協議会)</p> <p>富士見丘まちづくり協議会規約</p> <p>富士見丘町会略図</p> <p>富士見丘まちづくり協議会活動内容</p>	
議事日程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門部会成立の報告 2. 開会宣言 3. 傍聴申出の確認 4. 議題の宣言 5. 議案説明 「富士見丘まちづくり協議会」のまちづくり協議会認定申請について 補足説明及び質疑応答 6. 審議 7. 事務局からの連絡事項 8. 閉会 	

発言者	発言内容
-----	------

- 都市計画課長 では、定刻になりましたので、会議の開催をお願いいたします。
 なお、本日の欠席委員は 委員の1名で、委員から所用のため欠席とのご連絡をいただいております。したがいまして、委員6名に対しまして5名の出席をいただいておりますので、本日の杉並区都市計画審議会まちづくり専門部会は有効に成立してございます。
- 部会長 それでは、開会の宣言を会長の方からよろしくをお願いいたします。
- 部会長 それでは、第10回杉並区都市計画審議会まちづくり専門部会を開催いたします。
 本日の傍聴の申出はどのようになっておりますか。
- 都市計画課長 本日、 様ほか2名の方から傍聴の申出がございましたので、報告いたします。なお、ビデオテープ、カメラ等の撮影の申出はございません。
- 部会長 それでは、傍聴していただきますので、よろしくをお願いいたします。
 では、議題の宣言をお願いいたします。
- 都市計画課長 本日の議題は、審議案件として、杉並区まちづくり条例第15条の規定に基づきまして、まちづくり協議会の認定について申請がございました。これに伴い、区長から諮問されておりますので、ご審議をお願い申し上げます。
- 部会長 それでは、区長から諮問をいただいておりますまちづくり協議会の認定申請について協議いたしたいと思っておりますので、まず、資料の説明をお願いいたします。
- まちづくり推進課長 まちづくり協議会の認定申請が「富士見丘まちづくり協議会」から提出されました。区長より、都市計画審議会の認定に係る審議を諮問させていただきました。申請内容につきましては、申請人の方からご説明をしていただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。
- 部会長 行政側からの説明は以上、簡単なのですが、申請人の方から説明を聞きましてから、いろいろ伺いたいと思っております。
 それでは、「富士見丘まちづくり協議会」の申請人の方の説明をお願いいたします。大体10分程度ということに毎回なっておりますが、なるべく簡潔にお願いいたします。また質疑の時間もございますので、お願いいたします。
- 申請者 まず、今日、会を開いていただきまして、まことにありがとうございます。

発言者	発言内容
-----	------

私ども富士見丘まちづくり協議会は、会としての成り立ちは新しいのですが、富士見丘地域としてかなり昔からいろんな問題が山積しておりましたので、これを機会に協議会という形で活動できればと思っております。

まず、本日、ここに4名の委員が来ておりますので、4名を紹介させていただきます。

まず、私の隣が会の会長をしております、また、町会長でもございまして、私でございます。それから、私の後ろにおりますのが町会の総務を担当しておりますでございます。その隣におりますのが、以前から地域でまちづくりについて、地域の中でのグループで活動されておりましたでございます。あと、私は本日説明をさせていただきます商店会長のと申します。よろしくお願いいたします。

まず、お手元でございます地図を見ていただきたいと思いますのですが、今回、地図として提出させていただきましたのが、富士見丘町会ということで書かれておりますが、ちょうど適当な地図が見当たらなかったため、そういう形で出させていただきました。

富士見丘というところを少し説明させていただきますと、杉並区の南にございまして、吉祥寺と渋谷を結んでいる井の頭線の吉祥寺から4つ目の駅にございまして、駅を挟むようにして南北に富士見丘通りというのが通っているのですが、その通りの右側が高井戸西という町名になります。通りの左側が久我山という町名になりまして、富士見丘という町名はございません。古くから昔の高井戸地域の方々、久我山地域の方々というところでの動きはあるのですが、私どものところでは行政の谷間と呼んでおりますけれども、この通りを挟んで左右の町名が違うということで、なかなか手の届きにくい地域になっているのではないかなと思っております。

その中で、駅を挟んで南北の富士見丘通りを中心としたところで富士見丘町会を立ち上げております。この南北の通りがちょうど環状8号線と並行しておりまして、その抜け道で車の交通量の非常に多いところで、通りの6メートルぎりぎり幅のところを対向で1車線ずつ通っているところで、人の通る幅がほとんどないようなところでございます。

また、駅で申しますと、ここ最近ではバリアフリー化ということでどんどん改修されていっているわけですが、富士見ヶ丘駅が一番最後といいま

発言者	発言内容
-----	------

すか、おくれてしまって、いまだにバリアフリー化はされておられません。

駅周辺は、駅の通りの北側、通りを挟みまして高井戸町のところは、ちょうど駅と踏切のところはもう空き地になっておりますし、その反対側はビルが建っているのですけれども、1階は店舗を閉めて、シャッターが閉まっている状態でございます。そのように、地域としての活動がなかなか届かないといいますが、非常に寂しい状況になってきているわけですけれども、何とか活気ある町にしていきたいと思ひまして、今回、このまちづくり協議会を立ち上げることによって少しでも変えていければと思ひております。

今度、会則等を見ていただきたいのですが、会則等につきましては、私ども、今回まだ総会という形はとっておりません。まだまだ会則についても手直しをしていかなければいけない点もあると考えております。本日のこういう機会、また、コンサルタントの方に依頼してご意見を伺ったり、そういった過程を踏んで、もう少し充実した会則にして総会等に諮っていきたくて考えております。

なお、会則のところでは会計等の記載もございすけれども、とりあえず会計に関しましては、町会、商店会等でお互いに少しずつ負担をし合って、会を成り立てていければと考えております。

続きまして、富士見丘まちづくり協議会の内容について少し詳しく触れているものがもう一枚お手元にあると思うんですが、活動の区域といたしまして、まず、先ほど申しました富士見ヶ丘駅、これはバリアフリーがされていない駅でございます。それから、駅周辺は、バリアフリーに合わせて、周辺も幾らかなりきれいな形にできればと考えております。また、商店会通りということで、この交通問題は長年の課題ではございすけれども、何らかの方策がないかなと思ひております。

その後、活動ということで幾つか書かれておりますけれども、非常に多くの課題が山積している中で、まず、近々にやっていかなければいけない順番をつけるならば、このバリアフリー化が一番身近に迫っている内容ではないかなと考えております。この1～2年のうちにバリアフリー化になっていくのではないかとされておりますので、それに合わせてこちら側としての要望が届くように、いろんな話し合いを積み重ねていくことによって、町として望むバリアフリー化をしていければと考えております。

発言者	発言内容
	<p>以上、本当に簡単で、説明としては足りないかもしれないのですが、あとはご質問等で説明の穴埋めをできればと考えております。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。</p>
	<p>議論に入ります前に、今、駅のバリアフリー化の話も出ましたので、もう少しこの駅のバリアフリー化の予定とか、その辺の話を行政側からご説明いただいた方が委員にもおわかりいただけるかと思うので、お願いいたします。</p>
調整担当課長	<p>バリアフリー化につきましては京王電鉄も十分に認識しているところであります。杉並区は交通バリアフリーの基本構想を持っております。その構想が平成 22 年までなんですけれども、京王電鉄も平成 22 年までにはバリアフリーを目指していると聞いております。ただ、具体的な計画はまだ明らかにはなっておりません。区としても、今後も京王電鉄と調整を進めていくという段階でございます。</p>
部会長	<p>平成 22 年といいますと、結構近々の課題ですね。そういう課題も抱えているということですよ。</p>
	<p>そのほか、行政側から少し説明を受けた方がいいことはありますか。道路の状況も聞いておきたいですね。富士見丘通りに対してこれまでどういう取り組みをしてきたか。</p>
委員	<p>区の都市マス等でこの駅周辺は大体どういう位置づけになっているのか、あるいは用途地域の状況とかを教えてください。</p>
調整担当課長	<p>まず、富士見丘通りの道路の状況ですけれども、先ほども 会長からもお話がございましたけれども、幅員が6メートルちょっとというところで、平成 16 年の調査では、1日の交通量が24時間で6,000台から8,000台ぐらいという交通量の非常に多いところでございます。確かに歩車分離がされていないということで、杉並区内で最も危険な課題路線の1つという中で、富士見ヶ丘駅への通勤・通学の歩行者の道路になっています。それから、一部は久我山小学校の学童の通学路になっているということで、非常に危険な道路ということは認識しております。</p>
	<p>平成 13 年8月から14年1月まで、地域住民の代表の方、富士見丘の町会の方、商店会の方、久我山小学校、富士見丘小学校、中学校PTAの方、警察、杉並区職員による交通環境改善に関する連絡会を設置して、区へ報告書をいただいております。そのときに、2点、当面の改善策の要望として、例</p>

発言者	発言内容
-----	------

例えばポストコーンの設置、歩道部のカラー舗装化、路上駐車防止、この点については早期実現をしてほしいという要望がございまして、かなりの部分、実施してきているところでございます。

抜本的な改善策の要望がありまして、これについては今後時間をかけて論議をしていくということで、この報告書の中では、例えば建物のセットバックのための技術的、財政的な支援、一方通行化や時間規制などの新たな交通規制を考えるというようなことを今後時間をかけて論議することになっており、こういう報告書が出されております。現状では、その点、今後の抜本的な改善策はまだ進んでいない状況でございます。昨年、NHKの「ご近所の底力」で、お困りご近所としてこの道路について放映されたこともありました。道路についてはそういう状況でございます。

拠点整備担当課長 まちづくり基本方針、都市計画マスタープランでの富士見丘の位置づけですが、やはり富士見丘通りがかなり狭いということで、また、そこが商店街になっております。商店街としての歩行空間の充実を図るとというのが1つのまちづくりの方向性になっております。また、駅前広場がございませんので、まちづくり基本法上、まちづくり基本方針では駅前広場機能の整備を図るという位置づけになっています。

また、近くにNHKグラウンドがございまして、NHKグラウンドの整備に当たっては、まだこれは整備は決まっていますが、駅の西口の開設及びその周辺の駅前広場機能の整備を図るという方向性も出ております。私からは以上です。

部会長 ありがとうございます。今ちょっと伺った中で、車の通行台数は出てきたのですが、あと、駅の昇降人数とか、富士見丘通りの歩行者のボリューム、そんなものは調査されているんですか。いつも人の調査がないんですね。乗降客は1日何万人とか、大体わかっていますよね。

まちづくり推進課長 平成16年度ということで、ちょっと古い数字でございますけれども、富士見ヶ丘駅の乗車人員は、年度の総数としてはおよそ240万人です。

部会長 そうすると、月で20万人ですか。

まちづくり推進課長 月で20万人ぐらいでしょうか。

調整担当課長 歩行者の通行量は、富士見ヶ丘駅の北の方ではかったものしか今はないんですけども、これも平成16年でございまして、1日24時間で約3,500人余

発言者	発言内容
-----	------

でございます。

委員 申請者の方に聞くことになるかもしれませんが、町会の加入世帯、あるいは加入されていないこのエリア内の世帯数あるいは人口数がわかれば教えてください。

それともう1つ、商店会の商店数、これは北も南もあるわけですよね。どのくらいか、ちょっと教えていただきたいと思います。

申請者 お答えします。今、町会の会員数は約800世帯でございます。地域全体で何世帯あるかは私は把握しておりません。商店会の会員は南北合わせまして120会員でございます。

まちづくり推進課長 私の方から地域の全体のお話で申し上げますと、今、世帯数で久我山五丁目、二丁目、それから高井戸西二丁目、一丁目、ほぼ富士見丘通りに面した町丁目で申し上げますと、全体で8,400世帯ほどあると思われま。

委員 この町会より広いですね。

まちづくり推進課長 そうですね。町会はかなり入り組んでエリアを指定していますので。

部会長 ちょっと今の話はわからなかった。町会の世帯数ではなくて.....。

まちづくり推進課長 ではなくて、町丁目です。久我山五丁目、二丁目、それから高井戸西二丁目、一丁目の4町丁目合わせまして8,400世帯ほどでございます。

部会長 この4町丁目と富士見丘町会は同じエリアではないということですね。

申請者 はい、違います。今出てきた町名といいますのは、富士見丘の両隣にあります久我山と高井戸の中にあるエリアの町でございます。富士見丘町会といたしましては、久我山二丁目、五丁目の半分弱の富士見ヶ丘駅寄りの方々、それから高井戸西一丁目、二丁目へ行きますと高井戸駅寄り、富士見ヶ丘駅寄りの半分弱の方々ということで、町名のエリアの中にいるの方々では大体の方が加入されているのかなとは考えております。

部会長 最初に言われたように、富士見丘町という町名はないということなんですね。

申請者 はい。

部会長 わかりました。

そうすると、今の世帯数の関係は一概に割り切ることはできないですね。10%の加入率かということ、ちょっとそういう判断にはならないということですね。

今、大体概略のこと、基礎的なことをお伺いしましたので、それでは本論

発言者	発言内容
-----	------

として質疑応答を始めたいと思いますが、よろしいでしょうか。どうぞ、ご意見はありますか。

委員

会の目的が駅と駅周辺と商店会通りという話がありましたけれども、先ほどのご説明で、ここに書いてはいないんですけれども、商店会そのものの活性化といいますか、もう少し盛り上げたいというような意向も込められているのかどうかということと、今、商店街自体の状況、さっきシャッター云々という話もちょっとありましたけれども、その辺を少しお話しただけませんかでしょうか。

場合によって、目的が安全で安心というのはもちろん第一義的に考慮すべきことかもしれませんが、その商店会自体を底上げしたいという趣旨があるならば、もう少しそこを強調した方がいかなという感想を持っているのですけれども、どうでしょうか。

申請者

ご説明させていただきます。

現在、商店会、先ほど 120 店舗加盟と申し上げましたけれども、いわゆる物品販売、お店をあけて物を売っているお店は大体 30 店舗でございます。あとがいわゆるサービス業、パーマ屋さんとか、衣料関係もでございます。それと、会社ですね。あと、ビルのオーナーといいますか、そういった形で、本当に物品販売をやっているお店がなく、特に生鮮産品で言いますと、八百屋さんが 1 軒、魚屋さん、お肉屋さんはございません。そういう状況で、商店街としても非常に寂しい状況にございまして、商店街の活性化ということももちろん考えてはいるのでございますが、まずいろんな問題が山積している中、それを住民ということで少しテーマを絞った形で、今回はこの中に書かれている状況だと思います。

委員

それに関連しますけれども、添付の協議会の名簿がございまして、この中でいわゆる商店を営んでいる方、普通の一般住民の比率はどうなっていますか。一般住民の方もこの中には何人がいらっしゃるのでしょうか。

申請者

ご説明いたします。まず、名簿でございますけれども、一番上から までが町会の役員の方々でございます。それから、 から までが商店会のメンバーでございます。商店会で 、私が医療関係、 が不動産関係、 が和菓子屋さん、 が八百屋さん、 が自転車屋さん、 が喫茶店でございます。その後も から までには地域住民の方々でござ

発言者	発言内容
-----	------

います。

部会長

そのほか、質問ございますか。

委員

駅のバリアフリーが焦点になっているということで、実は大変期待をしたいと思うんです。区の方では交通バリアフリー基本構想があるわけですが、ご存じのように、世の中、バリアフリー新法に変わっておりまして、その変わったときの大きな違いは、地元の協議会をつくってバリアフリー基本構想を立てるのだと。さらに、それはいわゆる交通機関ということに限定されない。今回は駅中心でいいわけですが、もう少し幅広く柔軟で、かつ総合的に展開していくという話になってきて、もしこの富士見丘を中心とした駅周辺、道路まで含めたバリアフリー基本構想、整備を進めていくのだとすると、いいチャンスだと思うんですね。だから、これは杉並区にとっても、比較的周辺区におくれをとっていると思いますので、その辺を巻き返すチャンスだと思うんですね。

そういう意味では、このまちづくり協議会の意義としてはやはりそういう提案をするということが、協議会が成長していった結果として生み出すものとして大変期待されているわけで、ぜひそこまで見据えたというか、バリアフリー基本構想を立てるといった目的・目標を立て、結局、それは道路特定事業や何かにも結びついていく話ですから、かなり都市計画的な、具体的な提案になってくると思うんですね。

ですから、とりあえず学習・調査活動、それから駅に向けて、交通事業者に対しての提案というところにとどまらずに、バリアフリーという視点でこの周辺のまちづくりを進めていくんだということを、短期目標かもしれないけれども、当面の目標として掲げると非常にいいテーマになるのではないかなと思っています。

これは質問ではなくなってしまったのですが、その辺のことはお考えも今あるんでしょうね。

部会長

今、委員の言われたことを質問的に言えば、私もちょっと気になっているんですが、1番目も2番目も「学習調査研究」が目的になっていますよね。これは普通、大学とかは「学習調査研究」と言うんですけれども、住民の人が学習調査研究を目的にするというのはちょっと違和感があるんです。どうしてこういう表現になっているかというのをお話しいただいたらいいかなと

発言者	発 言 内 容
-----	---------

思うんですね。

申請者

ご説明させていただきます。

この会則をつくるに当たりまして、特別、資料といいますか、どのようにしているか全くわからない状況で作り始めたんです。そういった中で、この専門部会用につくったと言うとちょっとまずいのですけれども、そのような形で、先ほど申しあげましたようにまだ完成されたものでなく、これをいろんな方のご意見を入れながら練って行って、もう少し作り上げていきたいというのも1つの課題であると認識しております。

また、私たちが一番望んでいるものは、今お話しいただきました駅周辺から、もう全部含まれてくるのですけれども、区との話し合いの中で、絞ってといいますか、幾つか順番をつけていった方が話としてわかりやすいのではないかというご意見もいただいて、そういった中で、まず駅のバリアフリー化というのを一番に上げさせていただきました。それから、この会則につきましては、これも含めている方のご意見を入れながら作り上げていくという思いで今いるということでございます。

委員

区の方にお尋ねなんですけれども、今のお話ですと、会則もさらに少し検討したいという意向だったと思うんですけれども、この協議会の認定は、協議会として存在して認定するのか、申請とともに同時的に協議会を立ち上げるということでもいいのか、その辺の解釈を教えてくださいませんか。

まちづくり推進課長

区といたしましては、まちづくり条例に伴う申請書が出てきたということで、今回、ご審議をいただく形をお願いしたわけでございます。いわゆる活動の状況は、これを認定させていただきますと、活動助成などもさせていただくようになりますので、やはり活動が着実にできるかということで、そういう意味では活動実績などもある程度あって、今後、2年、3年の活動が継続的に行われることが見込まれるということが私どもとしては望ましいのかなと考えてございます。

委員

ということは、認定に当たって協議会が立ち上がっている、立ち上がっていないは条件ではないということですね。

まちづくり推進課長 はい。

申請者

私ども地域といたしましては、先ほど区の方がご説明いただきましたように、交通環境を改善する連絡会とか、町会、商店会等で長年にわたって地域につ

発言者	発言内容
-----	------

いてはいろいろな形で考えてまいりました。また、このまちづくり協議会という名前においては、今年、この名前で何回か会合は重ねてきております。地元で会議を行う上においては、特別、会則というものはそんなに重要性はなかったもので、今回、区に新たに登録させていただくという段になって会則というものが必要になってまいりまして、つくらせていただいたもので、これにつきましてもやはりもうちょっと充実したものにこれからしていきたいということでございます。

部会長

今のお話をいろいろ伺った中で、この地域には非常に課題が多い、それをそれぞれに対応した活動は十分なされてきたと。今回のまちづくり協議会というのは、ある程度トータルにその問題に取り組む討議の場というか、部分的なものだけで議論するのではなくて、総合性を持って議論する場を確保しようと考えた新たな取り組み姿勢なのか、今までも何となくそういうふうやってきているんだけど、やり方としてオーソライズされたものがなくて、その場、その場で問題に取り組んできたということなのか、その辺はどうでしょうか。

申請者

今までは比較的、町会の役員の方々とか、商店街のメンバーということで活動が行われてきたのですけれども、今回はもっと広い範囲におきまして、町会員でなくても地域の方々、それから学校、京王電鉄さん、そういった広くメンバーを集めることによって、全体でこの町のことを考えていければということで、こういった会をつくっていければと考えております。

部会長

それは新しい段階を迎えるというので、非常にいい形だと思っんですね。だから、ぜひぜひそういう場をつくっていただきたいと思うんですが、ちょっとまだいろいろ質問はあるのかなという気はします。

委員

今のお話に関連するんですけれども、ここに「富士見丘町会略図」という地図があります。ここに添付されておりますので、我々としてはこれが申請の活動区域の地図であろうと見てしまうわけですけれども、非常に入り組んでいるなという感じがまずまずですね。

それから、よくわからないのは、この部分がスポッと区域から抜けているんですね。多分これは高井戸西二丁目の一部だと思っんですけれども、町会としてはここが抜けてしまっているということなのではないでしょうか。また、今度は、協議会として立ち上げる場合には、こういう抜けた部分がここにス

発言者	発 言 内 容
	ポツとあるのがいいのかなという気がするんですけども、まず、ここが抜けているのは何なのでしょう。
申請者	その部分は古くから造園業を営んでいる方で、その方は隣の高井戸町会というもっと古くからある町会のメンバーの方でございます。地元の古くからいる方です。
委員	これは全部個人のおうちということですか。
申請者	はい。
委員	例えばこの方が協議会から抜けてしまっていて、このあたり一帯の調整ということが十分できるのでしょうか。
申請者	私もその後から区の方からご意見をいただきまして、その地図を最初に出してしまったのがちょっと失敗だったのかなと今思っております。本来、そういうところも全部含めた、もうちょっとわかりやすい丸い地図の方がよかったのかなと今反省しているところでございます。
部会長	今おっしゃられたことよりも、まちづくりを検討するのにどの区域を対象として考えたらいいかという考え方がもう1つ必要なんですね。そういったことも含めて、コンサルとか、少し専門家の手をかりつつやっていきたいというお気持ちもあって、こういう申請をされているように推測をするわけですが、もう少し専門的な指導みたいなものがありながら活動を前に持っていったらいいかなと思います。意見になってしまいますけれども。
	そのほか、ご意見どうぞ。
委員	今度、南側の方なんですけれども、NHKグラウンドの上の中学校と都営住宅の左側は、引き続いて王子製紙のグラウンド、その横に印刷局のグラウンドと企業のグラウンドがあって、大きい敷地は防災拠点にもなっているので、地域としては今後、企業がこういう状況の中で、国もこういう経済の中で閉鎖や売買ということも考えると、会長がおっしゃったように、ぜひともこういうまちづくりの考え方の中で取り組んでいって、こういう活動をやっているということをもっと広くアピールしていった方が、企業としても何かをやるときに商店街や地域の人に相談もしやすくなったりというのがあるのですが、その辺の方たちの折衝とかはどんな考えでいられますでしょうか。
申請者	そういうことも十分考えております。先ほど商店街の北のところできき地が

発言者	発 言 内 容
-----	---------

あるとご説明させていただいたのですけれども、その空き地につきましても、以前、銀行があったのですけれども、大きな地域のところの売買について全くこちらとしては手つかずだったので、現状のような更地状態になっているという形もございます。

また、以前、商店街で盆踊り等もやっていたのですが、地主の方が代替わりするときに手放してしまって、その会場がなくなったりとかいったことも経験しておりまして、地域の大きな場所が次に何か変わるようなときにも、何かこちらからの要望等が出せればいいのではないかなと考えております。

申請者

今、NHKグラウンドの話が出ましたので、ご説明をします。

2～3年前からいろんな噂があります。もともとこのNHKグラウンドは、東京都がNHKから買って、杉並区役所が管理して我々は使わせてもらう。新聞で数回、NHKグラウンドが民間に売却という記事が出まして、2年ぐらい前から3回、請願書を持っていきまして、それはだめだと。もう何十年も前からそういう形になっていて、杉並区役所から我々は開放してもらうということにぜひ戻してくれという請願をしまして、今現在は落ちついているというのか、余りそういう話題が出ていないのでございます。

あとのグラウンドは要するに個人的な企業のものでございまして、やはりNHKグラウンドは視聴率も含めてそういう私企業ではないものですから、しかも相当前からこういうことにするんだということで、区役所の方にも請願でそういうことのないようにと3回お願いをしてあります。

部会長

まちづくりの取り組み方で、請願や陳情という言葉が貴会の場合はたびたび出てまいりますけれども、請願や陳情をすれば解決するという問題でもないんですね。地元でどういう考え方を持って、それが非常にきちっと考えられて、意見をまとめているものかどうかというのを行政に上げるということが、行政側は先の交渉相手があるわけですから、力になるので、陳情や請願をしたらそれでうまくいくというものではないということをごまじり活動の中では少し認識していただいて。

ただ、大きな場、まちづくりを協議する場があれば、企業も行政側もそこへ相談なしに物事を決めることができなくなってくるんですね。そういう活動を表に出しつつやっていくことが地域のまちづくりのコツなので、その辺が今までの経緯もあるのかもしれませんが、たびたび陳情や請願という形の

発言者	発 言 内 容
	言葉が出てくるので、その辺を切りかえて活動していただかないと、いい成果物に結びついていかないという、これは私の意見なんですけれども。
申請者	いや、参考になります。ただ、我々は放っておくわけにはいかないから、とにかく動こうよ、お願いに行こうよという趣旨でした。
部会長	ということしか方法論がないように見えてしまうんですね。
申請者	こういう形でできてくれば、まちづくりという形の非常にいいポイントになりますよね。参考になります。ありがとうございました。
申請者	今、町会長が言ったとおりなんですけれども、今まで私どもにはそういった方法がなかったということと、今後、外から専門の方を招いて、もっと専門的な知識の中で地域を考えていければということに進めていきたいと思っておりますので、そういったところをご理解いただきたいと思います。
部会長	<p>もしかしたら1人でなくて、いろんな専門家が要るかもしれませんね。これは課題が余りにも多いので。それは区の方から支援していただくにも、ぜひとも協議会をつくっていただきたいと思うんですが、検討の区域をもう少しオーソライズして、そこにこの会則を周知してというのを改めてきちっとしておかないと、発足のときのつまづきが今後の活動で、富士見丘町会が勝手につくったのではないと言われてしまうと、後々うまくいかないで、今日説明を伺っていて、その辺がちょっと心配なところですね。</p> <p>ここで皆さんの意見をいただきたいのですが、もう少し時間を差し上げて、そういう時間をとっていただいて、あるいはコンサル派遣をしていただいて、いい形でスタートできるようなことを行政が支援していただいて、できたら今回、結論を出さないで、数カ月後とかにまた出していただくとか、申請書類を差しかえてもらうとか、皆さん、どうでしょう。ちょっとそんな雰囲気があるので。</p> <p>町会区域だけでやると、町会の活動と思われてしまうんですね。そうすると、加入していない町会会員とか、周辺の町会でない会員の人に協力を得ていくのがなかなか難しくなったりしますので、スタートは結構肝心ですので、どうでしょう。</p>
委員	結論を延ばすかどうかはちょっと別にしまして、私自身はこの活動範囲の地図を見てすごく気になっているんです。これから広報活動をされると思うんですけども、仮に我々の活動区域はこれですと出されると、何だ、これは

発言者	発言内容
-----	------

町会や商店街だけでやっている活動なんだとやっぱり思うと思うんです。さっき住民の方も入っていますかと伺ったのですが、もうちょっと丸みのあると
 いますか、先ほど 委員が言われた企業のグラウンド、特にNHKグラ
 ウンドはすごく大きな問題だと思いますし、別にNHKが了解しなくても、
 これを協議会の範囲に入れてしまうことは可能だと思いますので、ここも範
 囲に入れるとかいうことも含めて、もう一度検討いただいた方がいいのでは
 ないかと思います。

部会長 そのほか、今、もう少しタイミングが必要かなという感じなんです、それ
 に沿った意見をいろいろ言っておいていただいた方がいいと思うんですけれ
 ども、どうでしょうか。

委員 基本的には延ばすことについては問題がどの程度あるのか私はよくわからな
 いんですが、認定しなくても、例えばコンサル派遣ですとか、いろいろな支
 援の仕方はあると考えていいんですよね。そうすると、今までの協議会認定
 ではある程度実績というか、今までの経験、経緯というものを大事にしてき
 たような気がしますので、今回の場合は少しそういう最初の指導期間を経験
 していただいて、今言われたような修正を加えていっていただく期間を設け
 るのもいい方法だとは私は思います。

委員 皆さんのおっしゃる意見と全く同じなのですが、ただ、動きを早めに
 とった方がいいということもあるのかなというのがちょっとあって、立ち上
 げて、動いて、少し軌道修正しながらということが必要かなと思うんです。
 例えばその区域の問題にしる、会則の問題にしる、だれかが少し応援しな
 いと、きっとそう簡単にいかないかなと思いますので、そういう応援のしやす
 さが認定されていた方がしやすいということがあれば、認定して、軌
 道修正して、このようになりましたという事後報告でもいいかなという気は
 するんです。それが別に、指導するとか、応援するとかは認定が条件でなく
 てもいけるんだということがあれば、先ほど来の意見でも結構かと思いま
 す。とにかく動いた方がいいという印象は持ちます。

部会長 そうですね。先ほどの駅舎の交通バリアフリー化が平成 22 年ということに
 なると、もう結構詰まっていますね。余り協議会を立ち上げるのに時間をか
 けているのはもったいないかもしれませんね。その辺、もう少し議論しま
 しょうか。

発言者	発言内容
-----	------

委員、いかがですか。

委員 私は 先生がおっしゃったように、一番ポイントになるのはエリアだと思うんですね。この歯抜けの状態ですと、特に都営住宅やアパートが結構周辺に多く見受けられるんですけども、そういうところの人たち、狭い地域に結構人が多いので、交通や商店街にもすごく影響がある人たちをもっと巻き込んだ形でやるのと、あと小学校、中学校が入っていないと、区が入っていないのかみたいな、そういうところも入れて、全体的に巻き込んでやっているというところをアピールして、エリアをまず早急に変更するなりして、それで協議会を認定してスタートした方がいいような気が私もします。

部会長 今日認定してしまうんですか。それとも……。

委員 今日はちょっと難しいと思いますので。

部会長 かなり立ち上げは一生懸命やっていただいた方がいいという感じがしますので、どうでしょう。今の皆様のご意見を総合すると、ここでちょっとコンサル派遣をしてもらって、2～3カ月のうちに、この目的や区域を全部整理し直して、出てきたもので認定する方が多分、立ち上げがこういう形でスタートしたよというのは非常に重要なので、この書類は最低限整えた方がいいと思うんですけども、どうでしょうか。もう一回やりますか。早いうちにですけども。

委員 申請者の方のご意見もちょっと伺って……。

部会長 そうでした。いかがですか。頑張れますか。

申請者 ありがとうございます。頑張らなくてはいけないと今思っております。確かにこちらが出した書類は不備なものであったという認識をしております。それを早急に専門の方のご意見を伺いながら訂正をして、再度出させていただきたいと思います。

部会長 書類不備ということだけでなく、これは協議会を立ち上げて、後々検討していくときにひっかかってしまうんですよ。どういう形で立ち上げたかというのは、物を決めるときに、勝手に進めているとか、そういうのは必ず住民間での争いにつながりますので、そこは非常に大事だということですね。

申請者 ありがとうございます。

部会長 どうですか。行政側に質問なんですけれども、期間を置いてもう一回やって認定するという形は可能ですか。

発言者	発言内容
都市計画課長	事務局としては継続という扱いはできますので、その間でまちづくり担当セクションと地元の方と十分打ち合わせをしていただいて、できる限りのコンサル派遣とかをして、先ほどのエリアの絞り込み、規約、活動目標をもう少し固める時間があって、再度審査するという手続きはとれますので、それは役所の方としてもできるということでございます。
部会長	それでは、皆さん、全員一致で継続審議という印象ですので、継続審議ということによろしいですか。では、そのように決めさせていただきたいと思います。
	何か補足意見がありましたら、どうぞおっしゃってください。
委員	これは区の方にもお願いかもしれませんが、先ほど言いましたように、もし旧法の交通バリアフリー対応ではなくて、新法対応でやるとするならば、早いうちに富士見丘周辺バリアフリー基本構想を構想化するというふうに考えていただくといいと思います。新法対応で協議会をつくって、当然のことながら、その協議会はこのまちづくり協議会とかなりオーバーラップすると思いますが、当然、障害者団体や何かの当事者を含めた協議会という形で進めていくのが方法としては進むのではないかなと思っています。
都市計画課長	それについては行政内部でも大分議論をしないと難しい点があるのが正直なところです。杉並区でもバリアフリーに基づいて、今、重点地区の位置づけとして、高円寺駅周辺と下高井戸駅周辺を重点で目指しています。具体的に高円寺については、駅前広場、隣接する区道を含めてバリアフリーの施策をどんどん進めているんですけども、施策としてここで一度にほかの駅まで広げていけるかはちょっとお時間をいただきたいのが正直なところでございます。
部会長	もしかしたら、まちづくり協議会より立ち上げが難しいのかもしれませんがね。
委員	仮に前もってこういうのがあったとすれば、それが提案権を持っていると。住民発意でこういう構想を提案することができるわけですけども、それが前後してしまっているということですね。
都市計画課長	駅周辺の区道の歩道や段差の解消については十分前向きにやっていくスタンスであります。これまでも歩道の段差解消は順次やって、成果もずっと上げてきて、区道部分は達成率が非常に高いんですね。細かなところについてはやはり地元の方と協議して、個別できちっと対応していくことが今の土木部の

発言者	発言内容
	<p>セクションの考えでございますけれども、面的にきちっと構想なり計画をつくるというところまで、実効性はあるんですけども、計画までつくるかどうかというのは、ちょっとそこを検討させていただきということでございます。</p>
<p>部会長</p>	<p>では、これも継続審議ですね。</p> <p>できれば、そういう仕掛けがあれば、町の人まちづくりに取り組みやすい状況になるし、バリアフリーはだれでも反対の人はいないので、協議会そのものがまとまっていくという力にもなるので、できたら前向きに検討していただきたい。委員が専門ですので、ご専門の大学でそれをやっていたらっしゃるわけですから、今後も相談してもいいし、派遣してもらってもいいわけですね。</p> <p>では、そんなことも含めて継続審議ということによろしいですか。では、そうさせていただきます。</p> <p>それでは、次回、どの辺で予定するかは、また打ち合わせしていただいでということによろしいですか。</p>
<p>まちづくり推進課長</p>	<p>先ほどからお話が出ておりますご支援の方法につきましては私どもの方で担当させていただきまして、特にコンサル派遣につきましては今日ご申請者の方とも十分相談をして、早急に、今、複数という話もありましたので、その辺どのようにやるかというもご相談させていただいて、できるだけ速やかに、今日、一定のご指摘、ご意見をいただいたものを整えて、1～2カ月ぐらい後に一定の形で出せるように、私どももできるだけ支援をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>部会長</p>	<p>では、それを早急によろしくお願いたします。</p>
<p>都市計画課長</p>	<p>それでは、本日、継続ということになりましたので、その旨で事務的処理をさせていただきます。</p> <p>本日の専門部会の議事録につきましては、事務局で作成をして、でき上がりましたら部会長の署名をいただきたいと考えてございます。</p> <p>次回の専門部会でございますが、審議案件が発生いたしましたら、日程調整を含めまして委員の皆様にご連絡をさせていただきたいと存じます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>部会長</p>	<p>この富士見丘町会のまちづくり協議会の件については、また予定が決まりま</p>

発言者	発言内容
	<p data-bbox="424 241 1444 338">したら 大体目標はつくった方がいいと思いますから、大体この頃というふうに行政側に言って活動していただければと思います。</p> <p data-bbox="424 360 1444 456">それでは、どうもありがとうございました。以上で第 10 回の杉並区都市計画審議会まちづくり専門部会を終了いたします。どうもご苦労さまでした。</p> <p data-bbox="1326 479 1358 510">了</p>